弘前大学教育学部附属特別支援学校

学校だより

令和4年度第10号
令和4年9月30日発行
（文責　教頭）

共に学ぶ・・・附小交流、居住地校交流

本校では、児童生徒の積極的な社会参加を学校経営目標の大きな柱に掲げ、共生社会実現に向けて日々の指導にあたっています。その一環として小学部が取り組んだ「附小交流」、そして今年度から実施している「交流籍制度に基づく交流学習」について紹介します。

【附小交流】ここ数年対面での実施はできませんでしたが、今年度は十分な配慮をした上で、久しぶりの対面交流となりました。附属小学校のパテオは開放的な空間ですので、密になる心配はなし！小学校の友達と楽しく関わりながらの制作活動ができました。

【居住地校交流】 今年度から県下で実施されている交流籍制度に基づき、2 名の児童が居住地の小学校での交流学習に取り組んでいます。

「居住地校の友達と紙コップや空き箱を使って作品作りをしています。」　**「国語の後は、一緒に砂遊びです。」**

ありがとう、さようなら

4月から中学部3学年の担任を務めてくださった**西村愛梨先生**が任期満了のため、9 月 30 日を以て皆さんとお別れすることになりました。

西村愛梨先生

着任以来約 1 年間、中学部生徒だけでなく、高等部生徒も大変お世話になりました。

西村先生の更なるご活躍を期待しています 。

ありがとうございました。

令和 4 年度前期終業式を終えて・・・・

本日、前期終業式がありました。学級担任から児童生徒一人一人に「あゆみ」を手渡しました。「あゆみ」には、前期のお子さんの成長を記してあります。ぜひお子さんとご覧になりながら、お子さんの成長を一緒に確認していただきたいと思います。

今年度前期も引き続きコロナ禍にあり、保護者の皆様にはご心配をおかけすることがあったとは思いますが、運動会や県外への修学旅行など工夫をしながら実施することができました。保護者の皆様のご理解とご協力のお陰と感謝しております。

後期も「できる工夫」をしながら、児童生徒にとって充実した学校生活を送ることができるよう努めます。

引き続きよろしくお願いいたします。